

STAND UP PADDLEBOARD 2017

www.souyustick.com

SKYWALK 9'8"

スカイウォーク 9'8"

水の上でオールラウンドに遊ぶ。取り回し、推進力、安定性が一つに融合。



このモデル名は、水と海を空に例えSKYと表現しました。SKYWALK 9'8"は、キッズから体重約80kgまでの大人の方、年齢性別は問わず使用可能なオールラウンドボード。クルージング、サーフィン、釣り、グラトリ、スピアフィッシング、シュノーケリングなど遊び方は自由で無限大。車、飛行機であなたと一緒に旅も出来るし、宅急便で現地にも送る事も可能です。シャープなノーズ形状、センターからテールに掛けて安定感を出す為に幅を広いまま保ちながら、オルタナティブなサーフボードの様にカットしながらフィッシュテールに。取り回しの良さや安定性を発揮するシェイプになっています。シャープなノーズは向かい風を漕ぐ時に威力を発揮し、ナロー（幅の狭い）なテールはピボットターンがし易い・・・と、水上でより自由で楽しい動きを実現します。



Ⓐ シャープなノーズ形状と安定性のあるアウトライン
 ⓑ 荷物の固定に便利なドロコード
 ⓒ ハンドル。テールのハンドルにはリーシュコードを留めるDリングを装備
 ⓓ キックテールタイプのデッキパッド
 ⓔ クイックなピボットターンがし易いナローなフィッシュテール
 ⓕ コントロール性を考慮したロッカー配分
 ⓖ 取り外し可能なボックスタイプのセンターフィン。サイドフィンは固定式

PRICE: ¥99,000 [+tax]

LENGTH	9'8" (2,940mm)
WIDTH	780mm
THICKNESS	約100mm
VOLUME	約190 liters
BOARD WEIGHT	約9.5kg
RIDER WEIGHT	約80kgまで
FIN SYSTEM	2+1(SUPセンターフィンBOXタイプ)



※ 掲載されている商品はサンプル、プロトタイプになります。実際の商品は仕様、デザインが多少変更されます。ご了承ください。

SKYWALK 10'6"

スカイウォーク 10'6"

水面を歩く様に乗って楽しむ。オーソドックスなアウトラインで十分な浮力を実現。



SKYWALK 10'6"は、水上を歩く様に乗って楽しむ・・・水と海を空に例えSKYと表現、空の上を歩くように漕ぐことができます。9'8"より大きく浮力があるので体重約120kgまでの方で年齢性別は問わず使用可能。クルージング、サーフィン、釣り、グラトリ、スピアフィッシング、シュノーケリングなど遊び方はあなた次第。あなたの企画した旅のお供に最適です。宅急便で送れば一定先に到着しあなたを待っています。このボードは、オーソドックスなアウトラインで十分な浮力があり、初心者から上級者、老若男女に好かれるでしょう。安定性がありつつも、なかなか良い取り回しが可能なのがチャームポイントです。お子さんに乗せてナイスパパな一面を出す事も、恋人（出来れば彼氏が彼女を）に乗せて水の上をデートする・・・そんな使い方も可能です。



Ⓐ オーソドックスで安定性のあるアウトライン
 ⓑ 利便性を考慮し前後二箇所にドロコードを装備
 ⓒ ハンドル。テールのハンドルにはリーシュコードを留めるDリングを装備
 ⓓ 操作性を重視したナローなピンテール
 ⓔ コントロール性を考慮したロッカー配分
 ⓕ 取り外し可能なボックスタイプのセンターフィン。サイドフィンは固定式

PRICE: ¥99,000 [+tax]

LENGTH	10'6" (3,190mm)
WIDTH	780mm
THICKNESS	約120mm
VOLUME	約235 liters
BOARD WEIGHT	約10.8kg
RIDER WEIGHT	約120kgまで
FIN SYSTEM	2+1(SUPセンターフィンBOXタイプ)



※ 掲載されている商品はサンプル、プロトタイプになります。実際の商品は仕様、デザインが多少変更されます。ご了承ください。

EXPEDITION

エクスペディション

都会の喧噪を忘れるショートトリップに出掛ける相棒。

EXPEDITIONとは日本語に訳すと「遠征」と言う意味ですが、なにもこのボードで遠征、ロングディスタンスを漕げと言っているわけではありません。通常、12'6"というサイズのSUPになると、ロングディスタンスや競技をイメージしますが、SOUYU STICKのEXPEDITIONは、防水パックにタープやパーナー、シェラカップ、ランチ、コーヒーや飲み物などを入れてボードに装備してあるドロコードに固定し、いつものビーチから漕ぎ出して、水の上をトレッキングしながら都会の喧噪を忘れるショートトリップに出掛ける相棒です。誰もいないビーチに上陸しコーヒープレイク。想像しただけでも最高のチルタイムだと思いませんか。長さとそのシェイプから安定感と言うまでも無く、取り回しも踏み込むコツやパドルさばきさえ覚えれば誰でも簡単。ショートボードを乗せてシークレットまでの足にする・・・そんな使い方もアリ！です。



Ⓐ 推進力を考慮したアウトライン Ⓑ 利便性を考慮し前後二箇所にドロコードを装備 Ⓒ 利便性を考え、ノーズ、センターレール部分にもハンドルを配置。テールのハンドルにはリーシュコードを留めるDリングを装備 Ⓓ ターン性能を考慮した、シャープなノーズとテール形状 Ⓔ コントロール性を考慮したロッカー配分 Ⓕ 取り外し可能なボックスタイプのセンターフィン。サイドフィンは固定式

PRICE: ¥129,000 [+tax]

LENGTH	12'6" (3,800mm)
WIDTH	790mm
THICKNESS	約150mm
VOLUME	約350 liters
BOARD WEIGHT	約12.4kg
RIDER WEIGHT	約120kgまで
FIN SYSTEM	2+1(SUPセンターフィンBOXタイプ)



※ 掲載されている商品はサンプル、プロトタイプになります。実際の商品は仕様、デザインが多少変更されます。ご了承ください。

ADVENTURE

アドベンチャー

冒険は、いつでもあなたのすぐそばにある。

冒険は、その言葉ほどハードなモノではなく、あなたのすぐそばにいつでもどこにもあります。自宅を一步出れば常に冒険はあります。あなたがほんの少しいつもより視野を広げ、耳を澄ませれば、新しい発見はいくらでもあるのです。このADVENTUREでそんなフレッシュな冒険に出掛けてみませんか。釣り好きにはたまらないロッドフォルダーを装備し、左右のレール部分にアウトリガーフロード(この部分にも本体と別にエアを入れる)を装備しているので多少コンディションが悪い日も抜群の安定感を出します。クーラーボックスやドライパックに入れたキャンプ用品などを積載し、キャンプ、釣りをスパフィッシング、スノーケリングにと多種多様に遊びが広がります。お子さんを乗せてこのADVENTUREをベースにスノーケリングをする・・・最高ですね。一家に一台(一ボード)、アウトドア好きな家族やカップルに最適なボードです。



Ⓐ ノーズガードで補強 Ⓑ 利便性を考慮し前後二箇所にドロコードを装備 Ⓒ 利便性を考え、ノーズ、センター、テールにハンドルを装備。テールのハンドルにはリーシュコードを留めるDリングを装備 Ⓓ 前後二箇所に装備した取り外し可能なロッドフォルダー Ⓔ コントロール性を考慮したロッカー配分 Ⓕ 取り外し可能なボックスタイプのセンターフィン。サイドフィンは固定式 Ⓖ 安定性向上のためにサイドに装備したアウトリガー(本体とは別にエアを注入する)

PRICE: ¥129,000 [+tax]

LENGTH	10'10" (3,290mm)
WIDTH	970mm
THICKNESS	約150mm
VOLUME	約280 liters
BOARD WEIGHT	約14kg
RIDER WEIGHT	約120kgまで
FIN SYSTEM	2+1(センターフィンBOXタイプ)



※ 掲載されている商品はサンプル、プロトタイプになります。実際の商品は仕様、デザインが多少変更されます。ご了承ください。

FREEDOM

フリーダム

ライフスタイルを自由に楽しむ。シリーズ最短最軽量モデル。

FREEDOM。その名の通り、自由な発想から生まれた一本です。オルタナティブなサーフボードをイメージしたシェイプとロッカーで比較的短目のレングス。サーフボードライクなデッキパッチなど細部にこだわりを盛り込みました。シリーズで一番軽量、コンパクトなパッキングになるので、旅のお供にも最適。海外旅行など遠出のトリップでも足手まといになりません。安定性のあるアウトラインで、キッズや女性にもおススメのサイズです。このボードは、キャンプ道具と一緒にシーカヤックに積んで、移動先でクルージングやサーフィン、スピアフィッシング、スノーケリングに使用する・・・そんなアイデアも生まれます。このFREEDOMを手にした瞬間、あなたのライフスタイルは充実し豊かになるに違いありません。人生をフリーライドしましょう！



Ⓐ オルタナティブなサーフボードをイメージしたアウトライン Ⓒ ハンドル。テールにはリッシュコードを留めるDリングのみを装備
 Ⓓ ノーズまでステップできるように張ったデッキパッドとサーフィンライクなキックの付いたテールパッド Ⓔ オルタナティブ感を出すフィッシュテール Ⓕ コントロール性を考慮したロッカー配分 Ⓖ 取り外し可能なボックスタイプのセンターフィン。サイドフィンは固定式

PRICE: **¥98,000** [+tax]

LENGTH	8'6" (2,680mm)
WIDTH	760mm
THICKNESS	約100mm
VOLUME	約190 liters
BOARD WEIGHT	約9kg
RIDER WEIGHT	約80kgまで
FIN SYSTEM	2+1(SUPセンターフィンBOXタイプ)



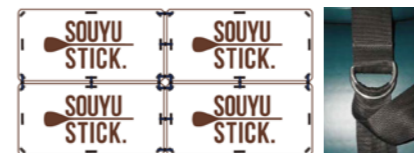
※ 掲載されている商品はサンプル、プロトタイプになります。実際の商品は仕様、デザインが多少変更されます。ご了承ください。

SOUYU BASE

ソウユベース

多種多様に使える水上ベース。

その名の通り、水上のベース。ここをベースにスノーケリング、釣りが可能。写真の様にヨガマットを敷けばヨガもできる。例えば、四辺、四角に持ち手が付いているので、SUPをここに接続し数人でヨガをするなど多種多様に使用できる。



SOUYU BASEは、連結ベルト(別売)を使用すれば、数枚をつないで使うことが可能



Ⓐ デッキ部四つの角には成形タイプのハンドルを装備 Ⓑ サイド四辺には生地タイプのハンドルを装備。A、Bのハンドル部分を使いスリングやロープ、カラビナ等で他のSUPを接続可能 Ⓒ ボトムの八箇所にD-リングを装備。アンカーなどの接続に便利 Ⓓ 炎天下でのデッキ部分の温度上昇を考慮しボディカラーはホワイト(白)に

PRICE: **¥78,000** [+tax]

LENGTH	3,240mm
WIDTH	1,600mm
THICKNESS	約120mm
VOLUME	約620 liters



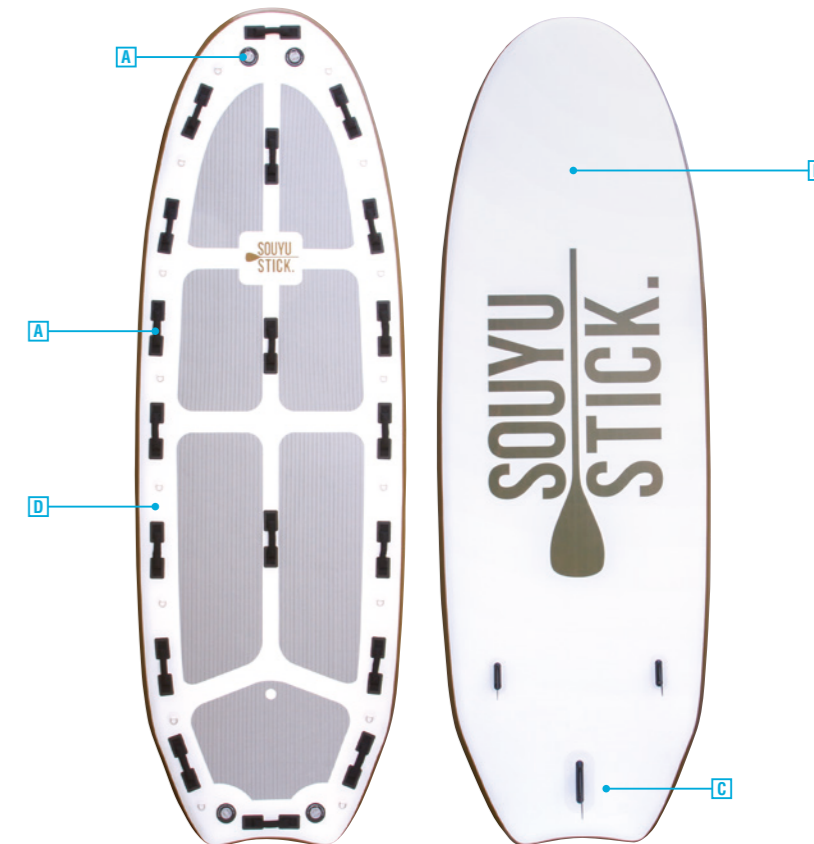
※ 掲載されている商品はサンプル、プロトタイプになります。実際の商品は仕様、デザインが多少変更されます。ご了承ください。

MEGA SUP

メガサップ

遊び方も多彩な特大SUP。

特大SUP。大人でも3～5人で乗って漕ぐことが可能(その場所のコンディションによる)。家族全員で、仲間数人で漕いで遊んだり、スノーケリングのベースにしたり、釣りをしたり、ラフティングの様に川下りをしたり・・・遊び方も多彩！



Ⓐ 空気の入れ口は前後四箇所。数人で手分けして空気を入れることが可能 Ⓑ 数人で乗ることを目的としているのでハンドルも多数装備 Ⓒ 取り外し可能なボックスタイプのセンターフィン。サイドフィンも取り外し可能なタイプを装備 Ⓓ 炎天下でのデッキ部分の温度上昇を考慮しボディカラーはホワイト(白)に

PRICE: **¥360,000** [+tax]

LENGTH	4,800mm
WIDTH	1,520mm
THICKNESS	約200mm
VOLUME	約1,000 liters
FIN SYSTEM	2+1 (全てBOXタイプ)



※ 掲載されている商品はサンプル、プロトタイプになります。実際の商品は仕様、デザインが多少変更されます。ご了承ください。

SOUYU STICK PADDLE

THE CARBON PADDLE

¥17,800[+tax]

フルカーボン仕様のパドル。表面を艶消しにしたコダワリのパドル。



THE BAMBOO PADDLE

¥19,800[+tax]

ブレードをバンブー（竹）、ハンドルを艶消しのカーボンにしたパドル。



THE MAHOGANY PADDLE

¥19,800[+tax]

ブレードをマホガニー、ハンドルを艶消しのカーボンにしたパドル。



THE BASIC PADDLE

¥12,000[+tax]

SOUYU STICKに標準装備されているベーシックなパドル。



THE TRANSFORM PADDLE

¥36,000[+tax]

シングルブレードパドル、ダブルブレードパドルと二種類のパドルにTRANSFORM（変身）する。風や潮の流れが強くなった時に座り漕ぎをする際などにダブルブレードにする・・・など威力を発揮！初心者をはじめ、釣りや長距離漕ぎに有効。



3PS (3ピース)

SOUYU STICKのパドルは、「インフレーターSUP = コンパクトに収納」というコンセプトから、すべてスリーピース仕様になっています。



SUP、付属品の取り扱いについて

購入後、使用する前に破損部分や不良箇所があった場合は保証の対象になりますが、使用後に関しては基本保証対象外になります。もちろん、原因によっては調査をいたします。また、SUPで海や川、湖を漕ぎだすことは、サーフィンやウインドサーフィン、カヤックなどと同じで自己責任となります。やる人自身で、安全対策や使用するギアの管理を行ってください。

— 保管・手入れ方法 —

海、川、湖を問わず使用後は、ボード、パドル、リーシュ、フィンなどすべて真水で洗い流しましょう。その後、からぶき、もしくは日の当たらないところで十分に乾かしてからロールアップ（折りたたむ）しバッグに詰めるようにしましょう。もちろん、ゲレンデで一度ロールアップしてバッグに入れて持ち帰った後でも、一度広げて真水で洗えば問題ありません。使用したまま保管するのは劣化の原因になります。ロールしてバッグに詰めたまま長期保管するのも劣化の原因になるので、たまに出して広げ、エアを入れて軽く膨らませてみましょう（少なくとも2〜3か月毎）。もちろん、どんなに忙しくてもたまたまSUPをするのをお勧めします！パドルなどにある金属部分は特に真水で流してしっかり乾燥させましょう。そのままにしておくすぐに錆びる原因になります。

何日か連続してSUPをする時はエアを入れたまま保管することになりますが、面倒でも使用後に軽くエアを抜き、翌日使用前に再度エアを入れるようにしましょう。製品の保護にもなりますが、真夏の暑い時期などは膨張による破裂の原因にもなります。

ボードをロールアップする時は、無理やりきつく巻き上げるのはやめましょう。折れ目に亀裂が入る原因になります。保管場所に余裕のある方は、軽く巻いて、もしくは巻き上げないで保管するのがベストです。もちろん、日の当たらない、風通しの良い場所です。

— 空気漏れ、修理 —

空気漏れの可能性があると感じた時は、まずバルブ周辺や生地との接合部分、Dリングなどパーツが取り付けられている箇所からチェックしましょう。石鹸水を入れたスプレー式のボトル（霧吹きなど）があると便利ですが、容器に石鹸水を入れて筆などで丁寧に確認できます。場所が特定できたらリペアキットを使って修理します。1〜3mm程度の小さな傷であればボンドで修理できる可能性があります。大きい場合はパッチを使用します。修理後は少なくとも12時間以上は乾かしてください。



- リペアキット収納ケース
- ボンド
- ブラシ
- レンチ
- 補修用パッチ 2枚

— パッキングバッグ —



SOUYU STICKに標準装備されているPACKING BAG。デザインは日本に古来からあるフロシキにインスパイアされ、イメージしたものです。使用方法は写真の通り。簡単にコンパクトに、そして美しくまとまります。しっかりエアを抜いて丸めたボードをセンターに置き、まず上下を合わせてストラップで留めます。パドルやフィン、リーシュなど小物を右側のカバーにある専用ポケットに収納し、ポンプをストラップで固定、そして最後のカバーを被せてストラップで固定すると完成。ポストンバッグ的な持ち手とバックパックライクに背負えるストラップが装備されているので持ち運びも便利になっています。



— フィン —

SOUYU STICKのセンターフィンはボックスタイプで、取り外しができます。フィンの固定はボックス後部のレバーを押すことで行います。使用前にはきちんとフィンが固定されているかを確認しましょう。また、無理に力を入れすぎるとレバーが折れることがあるので気をつけましょう。



Safety & Knowledge

SUP を安全に楽しむために

SUP (Stand Up Paddle)は、その名の通り、ボードの上に立ってパドルイング(漕ぐ)スポーツです。ボードは、フォームをシェイプしてグラスを巻いたタイプ、機械で成形したタイプ、空気を入れて膨らませるインフレーター・タイプなどがあり、SOUYU STICKからは、ポンプを使って空気を入れて膨らませるインフレーター・タイプをリリースしています。

SUPの楽しみ方は色々あり、海や川、湖などの水上をクルージングしたり、波に乗るサーフィンや、ヨガなどのエクササイズがあり、最近ではスノーボードのグラトリのように水上でグラトリをするなど新しい遊び方もあります。また、スノーケリングや釣りなどアウトドアでの遊びとリンクさせて遊ぶことも可能で、その楽しみ方は無限大です。

ただし、SUPは楽しいことばかりではありません。他のスポーツ同様、安全面や知識が大事になります。例えば、出発した時は穏やかな水面で風もなく漕ぎやすいコンディションだったのが、帰ることに向かい風が吹き、潮の流れもきつい、なんてこともあります。SUPを安全に楽しむために必要な知識を身につけましょう。

—— 安全を考えた装備 ——

基本的に法律で定められた事例はありませんが、空気で膨らますインフレーターSUPは何かの拍子に空気が抜けると事故につながります。水着を着用して、ウエットスーツ、ライフジャケットなど自身の浮力が確保できるものを身につけましょう。最近では体の動きに負担にならない薄手のライフジャケットもありますし、ウエストポーチ型の浮力体などもあります。身体とボードをつなぐリーシュコードも必ず使用しましょう。



長時間漕ぐ場合は、防水バックに携帯電話を入れて持って行くようにしましょう。もちろん、水分補給も大事なので飲料水を入れたボトルも携帯しましょう。例えば、防水バックに携帯や飲料水以外にファーストエイドキットや軽食も入れて持つていくことをお勧めします。

天気の良い日は頭上からだけでなく、水面からの反射も大きいので、紫外線・日焼け対策をしましょう。肌が露出している部分には日焼け止めを塗り、ハットやキャップを着用しましょう。

—— 道具の点検 ——

漕ぎだす前に下記の点検をしましょう。

- 1:ボードに破損箇所はないか？破れやほつれ、穴あきなど空気漏れがしている部分はないか？
- 2:空気を入れるバルブ部分、リーシュブラグやベルト、フィンやフィンボックスなどボードのパーツに破損箇所はないか？



- 3:パドルの長さの調節や、破損の確認も忘れずに行いましょう。リーシュコードは劣化していないか？その他、ウエットスーツやライフジャケット、携帯する小物類など細部まで確認しましょう。



—— ルールやマナー ——



SUPをするという行為は、基本的に自己責任になります。常に周囲の状況を把握し、安全に配慮して行動することが重要です。場所によってはローカル・ルールなど地域独自の規則がある場所がありますので、事前に現地のプロショップに問い合わせたり、インターネットで調べるようにしましょう。SUPでサーフィンをする場合は特にこれが重要になります。同じサーフィンという行為でも、ショートボード、ロングボード、ボディボードなどいろいろな手段でサーフィンを楽しんでいる人たちがいます。身勝手な行為は事故や怪我の発生につながります。気持ち良く遊ぶために配慮することを心がけましょう。その場、その時を共有する人へのあいさつも忘れずに。



—— グレンデ、漕ぐ場所での注意点 ——

天候や風速、波の高さなど、グレンデ(漕ぐ場所)のコンディションは事前に調べて把握しておきましょう。リーフの多い沖縄などの海では潮の干満も重要になります。潮が引くと水がなくなり漕げなくなるといこともあります。SUPは自然の中で行うものです。天気が良く、風も潮の流れも無い時ばかりではありません。漕ぎ始めた時にはそんなコンディションでも、天気が変わり、雨や雷、風が強くなり潮の流れが強くなるなどコンディションが変わることもあります。SUPは、向かい風や潮の流れに逆らって漕ぐのは大変です。上級者で体力のある人ならそんな時でも漕げますが、初心者や力のない人は立って漕ぐことが困難になります。大きいボードは安定感がありすぐに経って漕げる利点がありますが、逆に風や潮の流れに大きく影響されるという難点もあります。先のこと(技術は誰でも向上するので)を考えるとボードは選びましょう。



立って漕ぐのが困難な時は座ってカヤックのように漕ぐと良いでしょう。そんな時にはSOUYU STICKからリリースしている「THE TRANSFORM PADDLE」が有効です。座ったままシングルブレードのパドルで漕ぐより、ダブルブレードでカヤックのように漕ぐほうが数倍楽になります。

SUPをする場合、その場所の地形や潮の干満にも注意が必要です。水の底は砂地や岩礁、珊瑚などその場所によって違います。SOUYU STICKは空気で膨らますインフレーター・タイプになるので、鋭利な岩や珊瑚に激しくぶつくと破れや穴開きなど損傷の原因になりますので細心の注意が必要です。干満に注意するのもまさにこの時です。潮が引くと水面が下がり岩や珊瑚が露出てきます。この時に注意が必要なワケです。こういう場所ではリーフブーツの着用もお勧めします。



その日にSUPをする場所の天候、風、潮の干満など、事前に調べ、その場所の地形も把握して装備をするようにしましょう。また、むやみに珊瑚を踏んで潰したり、自然を壊すのはもってのほかです。自然を大切に・・・その心を持ってSUPを楽しみましょう。

その他、船舶にも注意が必要です。船(特に大型船)からは基本、SUPをしている人が見えなと思ってください。航路に侵入して漕ぐのはやめましょう。また、複雑な流れがあるので、消波ブロック(テトラポット)、堤防などに近づくのは危険です。SUPは水上を自由に漕ぐことができますが、楽しさを優先して自らの技術や経験を過信してはいけません。

海や川、湖には、山のように入山届はありません。その代わりに、家族や親しい友人、行きつけのショップの近所から出る場合は、そのショップなどに、その日の行動範囲や帰着時間などを伝えておきましょう。単独行の場合は特に重要になります。もし予定の時間を大きく過ぎても帰着連絡がない場合には遭難届を出してもらうようにあらかじめ依頼しておくとうと良いです。基本的に日没までには着岸することを心がけて、余裕を持って行動予定を立てましょう。また、沖に出てしまうとどこから出てきたかがわからなくなってしまうことがあります。出発時には、水上から陸を見て、あらかじめ目印や景色などを確認して戻る場所を記憶しておくようにしましょう。



万が一、個人や一緒にいる仲間などでは対処できないような遭難事故や怪我をした場合は、速やかに救助要請をするようにしましょう。そこが通信圏内であれば緊急通報や状況の連絡が可能になりますので、携帯電話を防水ケースや防水バックに入れて携行することをオススメします。

海上保安庁
緊急通報118番

HISTORY & CONCEPT.

SOUYU STICKは、みなさんの心の中にあるアウトドアへの探究心から生まれました。漕いで遊ぶこと、楽しみに境界線やカテゴライズされたモノはありません。それは自由で広く大きなモノです。現代のアウトドアスポーツは、一昔前の大きな山の頂上を目指す事だけでなく、みなさんのライフスタイルに身近になっています。キャンプやトレッキングだけでなく、サーフィンやスノーボード、スキー、スケートボード、カヤック、ラフティング、BMXやMTB、そしてスタンドアップパドルボード・・・すべてがアウトドアで楽しむスポーツです。それらすべてのマインドは、それぞれに共通することであり、楽しみ方や遊び方に対する気持ちや達成感、幸福感は基本同じです。自由です。SOUYU STICKのコンセプトはまさにそれです。ただひたすら漕ぐなんてナンセンス。一日の遊びの中の一部にSOUYU STICKを取り入れてください。また、SOUYU STICKで自分自身のアイデアを盛り込んで自由に遊んでください。こちらから、ほんの少しだけみなさんにヒントを与える為に幾つかのアイテムを提案します。SOUYU STICKが提案するそれぞれのアイテムには何かに特化してカテゴライズはされていません。手にした後、どの様に使いこなすか・・・アイデアはあなた次第です。冒険はあなたのすぐそばにあります。一步自宅から出れば移動距離が近くても遠くても旅がそこからはじまります。SOUYU STICKと一緒に冒険の旅に出ましょう！



HASCO

株式会社ハスコ・エンタープライズ
HASCO ENTERPRISES INC.

本 社 〒543-0033 大 阪府大阪市天王寺区堂ヶ芝2-5-4 TEL.06-4305-2111
東京営業所 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-41-4 TEL.03-5652-1911

SOUYU STICKに関するお問い合わせは、東京営業所、担当の下田までご連絡ください。